

ふりがな 氏 名	ほりべ ようこ 堀部 要子	職 名	准教授
取 得 学 位	博士(人間発達学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	特別支援教育論、障害児保育、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、介護等体験、卒業論文演習、幼児保育総合演習Ⅱ、保育・教職実践演習(幼稚園)		
所 属 学 会	日本LD学会、日本特殊教育学会、日本授業UD学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
公立小学校における教育実践	平成29年度	公立小学校(勤務校)の特別支援学級、通常の学級に在籍する「特別な教育的ニーズのある児童」への支援を行うために、校内支援システム(校内支援体制)を構築し運用した。さらに保護者との相談システムを構築し連携を図った。
公立小学校における特別支援教育に係る実践的研究	平成29年度 ～現在	公立小学校に在籍する多種多様な教育的ニーズのある児童への指導・支援方法を追究した。さらに、「個」への指導・支援方法とともに、クラスワイド及びスクールワイドの「集団」への指導・支援方法を追究した。具体的には、読み書き指導や学習支援、授業のユニバーサルデザイン化、SST(Social Skills Training)、支援方法の改善等を内容とする実践的研究に取り組んだ。これらの実践的研究の成果を学会等で発表し論文にまとめた。
小中学校の校内研修の講師及び障害のある児童生徒を対象とする巡回相談員	平成29年度 ～現在	愛知県及び岐阜県内市町村の小中学校を訪問し、特別支援教育に係る内容の校内研修の講師や、発達障害等の障害のある児童生徒への指導・支援方法の検討を行う巡回相談員を務めた。
教育センター、教育委員会、研究会等主催の、教員を対象とする講座・研修会等の講師	平成29年度 ～現在	教育関係団体主催の教員対象の特別支援教育等に係る内容の講座・研修会等の講師を務めた(春日井市教育委員会、一宮市教育センター、春日井市国語研究会、瀬戸市国語研究会、尾張旭市教育研究室、美濃加茂市教育センター等)。
各種団体主催の、教員以外を対象とする講座・研修会等の講師	平成29年度 ～現在	各種団体主催の、教員以外を対象とする講座・研修会等の講師を務めた(発達障害フォーラム、子育て講演会、特別支援教育支援員養成講座、発達障害支援研修会、支援員研修会等)。
障害のある幼児を対象とする巡回相談員及び支援に係る内容の講演講師	平成29年度 ～現在	障害のある就学前の幼児の保護者との教育相談や、幼稚園、保育所への巡回相談、保護者や園長対象の講演等、障害のある幼児の円滑な就学に向けての取り組みを進めた(春日井市、瀬戸市)。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
第 39 回東海北陸地区特別支援教育研究大会富山大 会助言者を担当	平成 29 年 7 月	「教科学習」をテーマとする分科会で、小中学校特 別支援学級の実践提案への助言を行った。
校長研修会、特別支援教育担当者会等の講話で使用 する例話「個別の教育支援計画の作成と活用」を執 筆	平成 29 年 10 月	新学習指導要領における「個別の教育支援計画」の 位置づけや作成・活用方法について概説した。 月刊プリンシパル 10 月号 特集：新学習指導要領と特 別支援教育、学事出版 共著者：青木隆一、樋口一宗、藤井慶博、堀部要子、 他 25 名 全 100 頁中、例話「個別の教育支援計画の作成と活用」 (pp. 26-27) を執筆
担当授業「特別支援教育論」における指導方法の検 討（名古屋女子大学、名古屋経済大学、名城大学）	平成30年度 ～現在	特別支援教育に係る内容の理解を促進し、かつ参加 度を高めるために、①動画を含む視聴覚資料の提示、 ②模擬授業や事例検討等の指導・支援方法に関する協 議の導入、③障害疑似体験や SST 等の体験型・参加型 プログラムの導入、を検討し実施した。
障害児者への接し方や支援方法についての助言（名 古屋女子大学、名古屋経済大学、名城大学）	平成30年度 ～現在	実習先で出会った知的障害児者や発達障害児者等へ の接し方がわからなかったという学生を対象に、その 状況と対象児者の実態を詳しく聞き、考えられる支援 方法を示した。また同様の体験をした他の学生にも還 元した。
特別支援教育に関する研究を進める学生への支援 （愛知県立大学）	平成31年度 ～令和 2 年 度	「インクルーシブ教育システム」「障害理解教育」等 の研究に取り組んでいる学生に対し、特別支援教育の 制度、障害により生じる困難さ、指導・支援方法等に ついて、資料や信頼できる情報を紹介しながら個別に 解説した。
教員を目指す学生への教職専門指導（名古屋女子大 学、愛知県立大学）	平成31年度 ～現在	教員を目指す学生を対象に、教職に関する指導及び 教員採用試験対策支援（小中高等学校）を担当した。 学校における障害のある児童生徒への支援方法につい て具体的な方策を示すとともに、PP 教材を作成して小 論文の執筆方法を段階的に指導した。
「特別支援教育相談実習」の外部講師（島根大学）	令和 2 年 12 月	教育学部の学校教育実習を修了または修了予定の学 生を対象に、「通常の学級に在籍する発達障害等の障害 のある子どもへのチーム支援」をテーマにオンライン 講義を行った。
「教職実践演習（小学校）」及び「学内実習」の外部 講師（愛知県立大学）	令和 3 年 1 月	教育福祉学部の小学校教員を目指す学生を対象に、 「通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児 童への支援」をテーマにオンライン講義を行った。ま た学内実習として、授業実習・生活指導実習に関する 指導助言を行った。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
「特別支援教育特講」の外部講師（愛知県立大学大学院）	令和3年度 ～現在	博士前期課程人間発達学研究科の学生を対象に、「特別支援教育の理論と実践的検討」をテーマに集中講義を行った。特別支援教育の今日的課題についての討議や、事例検討・ワークショップ等を通して、より実践的な内容の授業を行った。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 /学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
著 書	通常学級のユニバーサルデザイン スタートダッシュQ&A 55	共	平成29年 9月	東洋館出版社	編著者：阿部利彦 著者：堀部要子、他18名 全123頁中、理論編Q9小学校 学校全体でのUD化をどのよう に進めたらいいですか？ (pp.22-23)、授業編Q19 UD の視点をいかした指導案とは？ (pp.42-43)を執筆
	特別支援教育研究 特集：通常の 学級における合理的配慮と個別 の教育支援計画	共	平成30年 11月	東洋館出版社. 特別支 援教育研究11月号	編者：全日本特別支援教育研究 連盟 著者：堀部要子、他16名 全64頁中、実践① 校内支援 システムの構築と合理的配慮 の提供 (pp.12-15)を執筆
	シリーズ教育・保育の論点 新時 代の学び	共	令和3年 7月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教 育学科編。 著者：堀部要子、他17名 全136ページ中「インクルー シブ教育システムの構築と合 理的配慮の提供」(pp.17-24) を執筆
	教師とSCのためのカウンセリン グ・テクニック3 特別支援と愛 着の問題に生かすカウンセリン グ	共	令和4年 1月	ぎょうせい	編集代表：諸富祥彦 共著者：諸富祥彦、曾山和彦、 米澤好史、堀部要子、他22名 全165頁中、第2章 第2節 確 実におさえたい！発達障害へ の基本的な支援の在り方 (pp.40-43)を執筆
論 文	小学校におけるクラスワイドソ ーシャルスキルトレーニングの 導入方法の検討ー全校体制での 継続的な短時間SST実践の効果の 分析を通してー	単	平成30年 3月	愛知県立大学大学院人 間発達学研究科紀要 人間発達学研究 第9 号	pp.91-102

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 /学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
論 文	「書き」の効果に着目した多層の 読み書き指導モデルの検討	共	平成31年 2月	日本LD学会誌 LD研究 第28巻 第1号	堀部要子、樋口和彦 pp. 96-110
	小学校における特別な支援を必要とする児童への指導・支援に関する研究動向	単	平成31年 3月	愛知県立大学大学院人間発達学研究科紀要 人間発達学研究 第10号	pp. 57-65
	学校全体で取り組む継続的な短時間 SST の有用性	共	令和元年 11月	日本授業UD学会誌 授業UD研究 第8号	堀部要子、樋口和彦、曾山和彦 pp. 73-87
	公立小学校における特別な教育的ニーズのある児童を含む全ての児童へのスクールワイドの多層支援モデルの開発	単	令和2年 3月	愛知県立大学大学院人間発達学研究科 人間発達学専攻 博士論文	全293頁
	小学校におけるスクールワイドの取り出し学習支援ー学習支援の効果と校内支援システムの検討ー	単	令和3年 8月	日本LD学会誌 LD研究 第30巻 第3号	pp. 26-43
学会発表	校長のリーダーシップによる全校体制でのSST実践とその効果ー小学校における継続的なクラスワイドソーシャルスキル・トレーニングの導入ー	単	平成29年 10月	日本LD学会第26回大会 (宇都宮大学/早稲田大学)	ポスター発表 PE2-15
	SSTへのICTの適用の可能性を探る	共	平成30年 9月	日本特殊教育学会第56回大会 (大阪教育大学)	堀部要子、他5名 自主シンポジウム 5-13
	小学校におけるスクールワイドSST実践とその成果	共	平成30年 9月	日本特殊教育学会第56回大会 (大阪教育大学)	堀部要子、他2名 ポスター発表 P2-63
	小学校における読み書き困難への学習支援方法の開発とその効果ー「ひらがな、カタカナ、漢字」文字の習得に向けてー	共	平成30年 11月	日本LD学会第27回大会 (上越教育大学/新潟大学)	堀部要子、他3名 自主シンポジウム J3
	「書き」の指導を導入した多層指導モデルの検討	共	平成30年 11月	日本LD学会第27回大会 (上越教育大学/新潟大学)	堀部要子、他1名 ポスター発表 P1-16
	自閉症児の学習とは？ーASD児の主體的・対話的で深い学びー	共	令和元年 9月	日本特殊教育学会第57回大会 (広島大学)	堀部要子、他3名 自主シンポジウム 8-6

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行 ・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
そ の 他 (報 告 書)	校長がマネジメントする校内支 援システムの構築と学校経営モ デルの作成	単	平成 29 年 度	平成 29 年度 科学研究費補助金 (奨 励研究) 交付	奨励研究 (研究課題/領域番号 17H00266)